

2024年度

5大学災害看護コンソーシアム
開講科目 履修の手引き



国立大学法人

東京医科歯科大学

※東京医科歯科大学は東京工業大学と令和6(2024)年度の秋に統合し, 東京科学大学となる予定です。

目 次

履修案内	
1. 制度の概要	2
2. 出願資格等	2
3. 出願・履修登録手続	3
4. 単位認定及び学業成績	3
5. 履修案内	4
特別聴講学生 出願手続の流れ	5
5大学災害看護コンソーシアム(特別聴講学生)願書	6
履修届	7
連絡票	8
授業科目一覧	9

履修案内

1. 制度の概要

東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の五大学は、各大学が、自主自立を尊重しつつ連携して、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、災害看護に関してその深奥を極め、人々の健康社会の構築と安全・安心・自立に寄与し、グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的として「災害看護コンソーシアム」を結成しました。

これにより、東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の五大学は、それぞれの大学の特色ある授業科目を提供することにより単位互換を実施し、5大学間の相互交流及び災害看護教育の充実を図ることを目指しています。

また、東京医科歯科大学に所属する大学院生は、本コンソーシアムにより提供される科目の単位を取得する他、所定の要件を満たした場合に「災害看護グローバルリーダー養成コース」を修了したと認定され、学位記に付記されます。本コースの詳細については、本学保健衛生学研究科看護先進科学専攻のシラバスを参照してください。

2. 出願資格等

(1) 出願資格

東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学に所属する大学院生を対象とする。

(2) 学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」とする。

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

(4) 履修科目

特別聴講学生が履修できる授業科目は、別表の「授業科目(予定)一覧」とおりとする。

なお、授業内容の詳細については、各大学のシラバス、HPを参照してください。

(5) 履修計画

所属大学での履修計画等を十分考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。

(6) 履修期間

履修する授業科目が開講されている授業期間とする。

(7) 受入れ条件

学生を受入れる条件(履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入れ学生数、各種日程等)については、それぞれの受入大学が決定する。

(8) 評価の方法

授業科目の評価(試験・レポート等)の方法については、受入大学の規則によるものとする。

なお、受入大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けてください。

3. 出願・履修登録手続

(1) 出願期間

5大学災害看護コンソーシアムに関する協定書及び単位互換に関する申合せに基づき、特別聴講学生を志願する学生は、受入れ大学が定める所定の期間に手続を行ってください。

(2) 出願方法、提出場所

出願は、出願者が直接受入希望大学にて手続を行います。所属大学を通す必要はありませんが、出願に際しては本籍大学の指導教員と履修計画について相談の上、手続をしてください。

出願者は、受入大学が定める書類を提出してください。

・本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

東京医科歯科大学の大学院生で他大学開講科目の履修を希望する者は、他大学での出願手続き・受入許可後に本学学務企画課大学院教務第二係に連絡のうえ、所定の履修届を提出してください。

・他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

必要な書類は「5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生願書」、「特別聴講学生履修届」、「特別聴講学生連絡票」の3点です。

(3) 出願・履修登録手続書類提出期間

・本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

高知県立大学	: 学年または学期の始め 4 週間以内
兵庫県立大学	: 2024 年 4 月 4 日まで
千葉大学	: 2024 年 4 月 8 日から 4 月 12 日まで
日本赤十字看護大学	: 2024 年 4 月 8 日から 12 日まで

・他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

願書・履修届・連絡票: 2024 年 4 月 8 日～4 月 12 日

***願書に記載した科目を履修するためには履修届の提出が必要です。願書に履修予定科目を記載しただけでは講義を受けられません。**

(4) 出願書類提出場所

・本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

各大学の案内を参照してください。

・他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

東京医科歯科大学統合教育機構事務部学務企画課大学院教務第二係
(東京都文京区湯島1-5-45 1号館西1階)
または、上記宛先まで郵送すること

(5) 履修の可否

受入れ大学が定める方法により、履修の可否が決定される。

(6) 履修辞退手続

履修を辞退する場合には、受入れ大学に相談の上、所定の手続を行ってください。

4. 単位認定及び証明書の発行

(1) 単位認定

受入大学からの成績通知に基づき、単位が与えられている授業科目については、所属大学の定める規定等により、単位を認定する。

(2) 証明書の発行

本学所属の大学院生が、本コンソーシアムによる単位互換で授与された単位が本学で認定された場合、本学が発行する成績証明書及び単位取得証明書に記載される。なお、その際の授業科目の名称は、受入大学の開講授業科目名をそのまま記載する。

5. 履修案内

(1) 協定大学の所在地と問合せ先

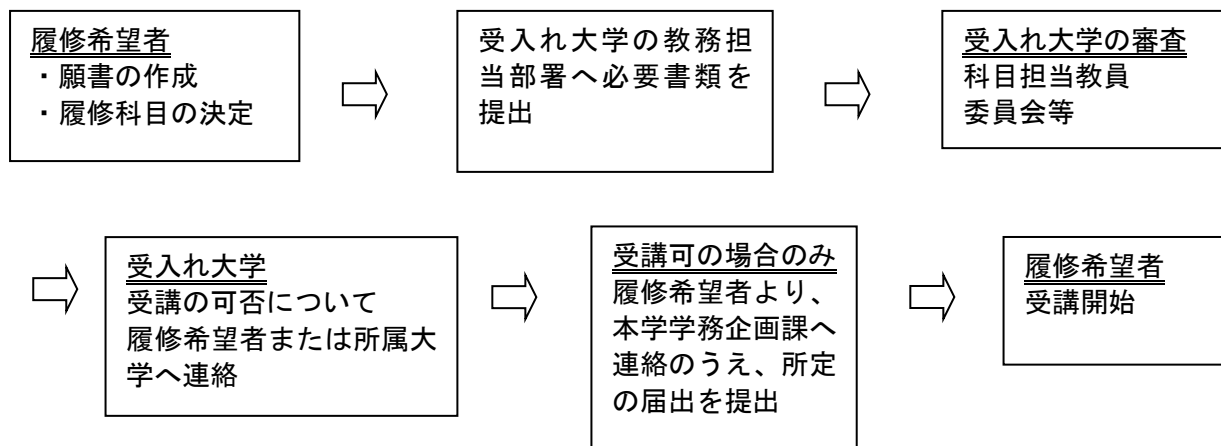
- | | |
|--------------------|--|
| 【高知県立大学】 | 高知県高知市池2751-1
教務支援部 教育研究戦略課:TEL 088-847-8810 |
| 【兵庫県立大学】 | 兵庫県明石市北王子町13-71
学務課:TEL 078-925-9613
https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/graduate/consortium/index.html |
| 【千葉大学】 | 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
亥鼻地区事務部学務課大学院係:TEL 043-226-2450
https://www.n.chiba-u.jp/exam/graduate/special.html |
| 【日本赤十字看護大学】 | 東京都渋谷区広尾4-1-3
学務一課:TEL 03-3409-0916 |
| 【東京医科歯科大学】 | 東京都文京区湯島1-5-45
学務企画課 大学院教務第二係:TEL 03-5803-4534 |

(2) 協定大学の時間割

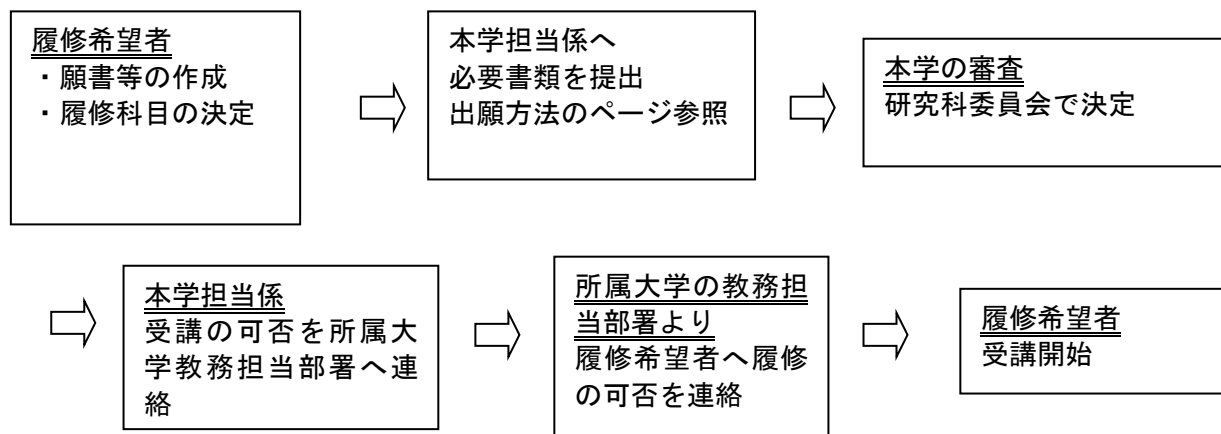
- | | |
|------------------|--------------------|
| 【高知県立大学】 | 【日本赤十字看護大学】 |
| 第1時限 8:50~10:20 | 第1時限 9:00~10:30 |
| 第2時限 10:30~12:00 | 第2時限 10:40~12:10 |
| 第3時限 13:00~14:30 | 第3時限 13:00~14:30 |
| 第4時限 14:40~16:10 | 第4時限 14:40~16:10 |
| 第5時限 16:20~17:50 | 第5時限 16:20~17:50 |
| 【兵庫県立大学】 | |
| 第1時限 9:00~10:30 | |
| 第2時限 10:40~12:10 | |
| 第3時限 13:00~14:30 | |
| 第4時限 14:40~16:10 | |
| 第5時限 16:20~17:50 | |
| 第6時限 18:20~19:50 | |
| 第7時限 20:00~21:30 | |
| 【千葉大学】 | 【東京医科歯科大学】 |
| 第1時限 8:50~10:20 | 第1時限 8:50~10:20 |
| 第2時限 10:30~12:00 | 第2時限 10:45~12:15 |
| 第3時限 12:50~14:20 | 第3時限 13:30~15:00 |
| 第4時限 14:30~16:00 | 第4時限 15:25~16:55 |
| 第5時限 16:10~17:40 | 第5時限 17:00~18:30 |

5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 出願手続の流れ

本学の学生が他大学の授業科目を履修する場合



他大学所属の学生が本学の授業科目を履修する場合



5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生願書

年 月 日

学長 殿

私は、5大学災害看護コンソーシアムに関する協定書及び単位互換に関する申合せに基づき、特別聴講学生として、下記のとおり提供・開講科目を履修したいので、関係書類を添えて提出いたします。

フリガナ		男・女	本籍等	都道府県等	写真貼付 3 × 4 cm 絹目は、不可 写真の裏に、氏名・学籍番号を記入して、願書の右上に、クリップ止めしてください。
氏名					
生年月日	西暦 年 月 日 生				
学籍番号					
現住所等	〒 携帯電話				
(Eメールアドレス)					
所属大学院・研究科・専攻					
志望(出願)理由					
履修予定科目名	授業科目名	担当教員	単位数	開講学期等	
				期	曜日
					時限

履 修 届 (年度 前期 ・ 後期)

5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生用

所	属	学 年	学 籍 番 号	ふ り が な 氏 名
	大学院 研究科 専 攻			

科 目 名	担 当 教 員	対象期間 学期	時 間	
			曜 日	時 限
			: ~ :	
			: ~ :	

5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 連絡票

所属大学院名: _____ 研究科・専攻名: _____

学籍番号: _____ 学年 _____

ふりがな
氏名: _____

連絡先	TEL. 1	
	TEL. 2	
	アドレス1	
	アドレス2	
	住所	〒

★ -ハイフンとアンダーバー、。オーと0ゼロなど紛らわしい場合はフリガナをつけること

* この連絡票は、5大学災害看護コンソーシアムの授業の連絡手段としてのみ使用します。

* 必ず連絡のとれる連絡先を記入すること。

* 課題等もメールでお知らせする場合がありますので、添付ファイルが受信できるアドレスを記入すること。

5大学災害看護コンソーシアム 科目一覧

(5 大学単位互換制度による)

提供大学	科目名	単位	種別	時間割		
				前期	後期	その他
高知県立大学	災害看護活動論(準備期)	2	講義			土日(開講時期未定)
	環境防災学(※)	1	講義		木 4 限	
東京医科歯科大学	看護政策学特論	1	講義		火・1-2 限	
	災害看護学特論 I	2	講義	火・3-4 限		
千葉大学	災害マネジメント	1	講義		金・午前	
	災害看護活動論(復旧・復興)	1	講義		金・午前	
	災害時専門職連携演習	1	演習			集中 3 月 (隔年開講)
日本赤十字看護大学	赤十字概論Ⅱ	2	講義	水・4 限		
	災害看護学特論	2	講義	水・1 限		
兵庫県立大学	災害グローバル看護実践論	2	講義	木・5 限		
	災害看護フィールドワークⅠ	1	実習			集中(夏季)
	災害看護フィールドワークⅡ	1	実習			集中(冬季)

2024.1.17 現在

※2024年度をもって科目を廃止する予定

時間割番号	061068					
科目名	看護政策学特論	科目ID	GN—a1203-L			
担当教員	柏木 聖代, 伊勢田 暁子, 佐藤 主光, 森岡 典子, 後藤 友美, 齋藤 訓子[KASHIWAGI Masayo, ISEDA AKIKO, SATO MOTOHIRO, MORIOKA Noriko, GOTOH Tomomi, SAITOU Noriko]					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1~	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う						
主な講義場所 3号館15階 大学院講義室2						
授業の目的、概要等 看護をめぐる今日の社会的背景等を踏まえ、看護制度・政策の理念、機能、意義を理解するとともに、近未来の看護政策の展開に必要な知識ならびに技法について教授する。						
授業の到達目標 1.看護を取り巻く制度・政策やその決定プロセスを理解する。 2.看護を取り巻く医療制度・政策の課題を整理し、解決策を提案する能力を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/1	10:45-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	看護政策論	柏木 聖代	看護を取り巻く制度・政策やその決定プロセスの概要が理解できる
2	10/8	10:45-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	これからの看護と政治、日本看護連盟の役割	伊勢田 暁子, 柏木 聖代	国政における政策立案過程を理解する
3	10/22	10:45-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	財政と医療・経済学の視点	佐藤 主光, 柏木 聖代	財政、医療・経済学の視点から日本の医療制度・政策を考えることができる
4-5	11/5	08:50-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	看護政策過程演習:課題の抽出・明確化	柏木 聖代, 森岡 典子	ディスカッションを通じ看護を取り巻く政策課題の抽出・明確化ができる
6	11/12	10:45-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	看護職者の政策過程への参画	齋藤 訓子, 柏木 聖代	職能団体における政策立案過程を理解する
7	11/19	10:45-12:15	保健衛生学研究科 大学院講義室2	看護課題の改善と施策への反映	後藤 友美, 柏木 聖代	厚生労働省における政策立案過程を理解する
8	12/10	10:45-12:15	保健衛生学研究科	看護政策過程演習:政策提言・討議	柏木 聖代, 森岡 典子	看護を取り巻く医療制度・政策の課

			大学院講 義室 2			題を整理し、解決 策を提案・討議す ることができる	
授業方法							
看護を取り巻く制度・政策の実際と決定プロセスについて、看護学および法学・経済学などの関連領域の研究者や行政官など実際の政策過程に携わる実践家の講義から学ぶ。各自の臨床経験・研究テーマに関連した看護・医療の政策・制度上の課題を整理・抽出し、解決策を考案する。							
授業内容							
別表のとおり							
成績評価の方法							
参加状況(60%)、プレゼンテーション(20%)、レポート(20%)に基づいて総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示							
看護政策過程演習については別途講義内で指示する。							
参考書							
看護職者のための政策過程入門 第2版—制度を変えると看護が変わる!／見藤 隆子(著)、石田 昌弘(著)、大串 正樹(著)、北浦 暁子(著)、伊勢田 暁子(著):日本看護協会出版会, 2017							
履修上の注意事項							
進行予定・内容は、非常勤講師の予定等に応じて変更されることがある。							
連絡先(メールアドレス)							
柏木 聖代kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3号館18階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室							
オフィスアワー							
柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。							

時間割番号	061035				
科目名	災害看護学特論 I			科目ID	GN—d1703-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 福島 芳子, 宮前 繁, 濱舘 陽子, 石田 正人, 高村 ゆ希[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, FUKUSHIMA Yoshiko, MIYAMAE SHIGERU, HAMADATE Youko, ISHIDA Masato, Takamura]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1~	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
<ul style="list-style-type: none"> ・災害看護コンソーシアム科目(災害看護グローバルリーダーコース必修科目) ・クリティカルケア高度実践看護師コース必修科目 ・全て日本語で行う 					
主な講義場所 遠隔授業					
授業の目的、概要等 主要な災害の急性期において、心身のクリティカルな状況にある人々の、身体状況、精神心理状況について理解するとともに、災害時医療の原則、医療救護、被災者・支援者への心身のケアの実際、継続的な看護支援のあり方について学修する。そのため、災害時の疾病構造、各種災害の急性期の医療活動の原則と、チーム医療活動における看護の役割について学び、医療救護に必要な知識・技術を修得する。また、急性期を脱した後の、継続的な看護支援のあり方について検討する。					
授業の到達目標 1.各種災害の急性期の医療活動の原則と、チーム医療活動における看護の役割がわかる。 2.災害時の医療救護に必要な知識・技術を習得する。 3.災害急性期を脱した後の、継続的な看護支援のあり方について検討する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応	佐々木 吉子
2-3	4/23	13:30-16:55	遠隔授業 (同期型)	災害急性期のエマージェンシー・ケア	佐々木 吉子
4-5	5/14	13:30-16:55	遠隔授業 (同期型)	重症傷病者の一次評価、二次評価、応急救護	佐々木 吉子
6-7	5/28	13:30-16:55	遠隔授業 (同期型)	侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応	今津 陽子
8	6/11	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	病院防災とDMAT活動	宮前 繁
9	6/11	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	大規模災害時の帰宅困難者対策	濱舘 陽子
10-11	6/25	13:30-16:55	遠隔授業 (同期型)	放射線災害時における緊急被ばく者への医療対応	福島 芳子
12	7/9	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	災害時の心のケア	石田 正人
13	7/9	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	災害時小児周産期リエゾンの役割と活動	高村 ゆ希
14-15	7/23	13:30-16:55	遠隔授業 (同期型)	テロ災害の傷病者への医療	佐々木 吉子
授業方法					

各回のテーマに基づく、講義、およびディスカッション
授業内容 本授業では、災害急性期において、心身のクリティカルな状況におかれた、個人、集団に対する医療や看護の原則、実際の医活動について学び、その専門性についての知識の修得および実践力を養う。 1.ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応 2.災害急性期のエマージェンシー・ケア 3.重症傷病者の一次評価、二次評価、応急救護 4.侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応 5.病院防災とDMAT 活動 6.大規模災害時の帰宅困難者対策 7.放射線災害時における緊急被ばく者への医療対応 8.災害時の心のケア 9.災害時小児周産期リエゾンの役割と活動 10.テロ災害への医療対応と備え
成績評価の方法 授業への参加姿勢(40%)、事後課題レポート(40%)、最終レポート(20%)
準備学習等についての具体的な指示 初回授業においてガイダンスを行い、各授業で必要時補足する。
参考書 Disaster nursing and emergency preparedness for chemical, biological, and radiological terrorism, and other hazards / Tener Goodwin Veenema, Veenema, Tener Goodwin, : Springer, 2019
履修上の注意事項 課題がある場合、指定された期限までに指定された方法で提出する。
備考 日程や内容は変更する可能性がある。
連絡先(メールアドレス) 佐々木 吉子 y-sasaki.dn@tmd.ac.jp 3号館 19階 今津 陽子 imazu.dn@tmd.ac.jp 3号館 18階
オフィスアワー 佐々木 吉子: 平日 AM.9:30-PM.5:30 3号館 19階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室 今津 陽子: 平日 AM.10:00-PM.5:00 3号館 18階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室